

■ニコチン依存症に係るスクリーニングテスト(TDS)

はい (1点)	いいえ (0点)
------------	-------------

判定方法:合計点が5点以上の場合、ニコチン依存症と診断する。

1. 自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまいましたか。			
2. 禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかったことがありますか。			
3. 禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコがほしくてほしくてたまらなくなる ことがありますか。			
4. 禁煙したり本数を減らしたときに、次のどれかがありましたか。 (イライラ、神経質、落ちつかない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、 脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重増加)			
5. 上の症状を消すために、またはタバコを吸い始めることができましたか。			
6. 重い病気にかかったときに、タバコはよくないとわかっているのに吸うことがあり ましたか。			
7. タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっているのに、吸うことができましたか。			
8. タバコのために自分の精神的問題(注)が起きているとわかっているのに、吸うことが ありましたか。			
9. 自分はタバコに依存していると感じることがありましたか。			
10. タバコが吸えないような仕事やつきあいを避けることが何度かありましたか。			

(注)禁煙や本数を減らした時に出現する離脱症状(いわゆる禁断症状)ではなく、喫煙することによって神経質になったり、不安や抑うつなどの
症状が出現している状態。